

【2022年開催都市】

さいたま市における自転車活用の推進 Before&After

【本日のお話しの構成】

- さいたま市の概要と特徴
- さいたま市の自転車施策の取組
- コロナ禍前後での自転車利用状況の変化
- コロナ禍の中で進めた取組（開催前）
- 自転車施策の取組の進化（開催後）
- 自転車施策の取組の効果（開催後）
- JCC開催後の変化
- さらなる自転車施策の推進

【開催コンセプト】

安全で持続可能なモビリティライフと自転車

～Beyond the COVID19 新時代の自転車ライフ～

さいたま市都市局

交通政策部長

代田 智之

交通政策部

自転車まちづくり推進課長

岡井

利文



2025 TOUR DE FRANCE

**SAITAMA
CRITERIUM**

2025 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム

11.9 SUN

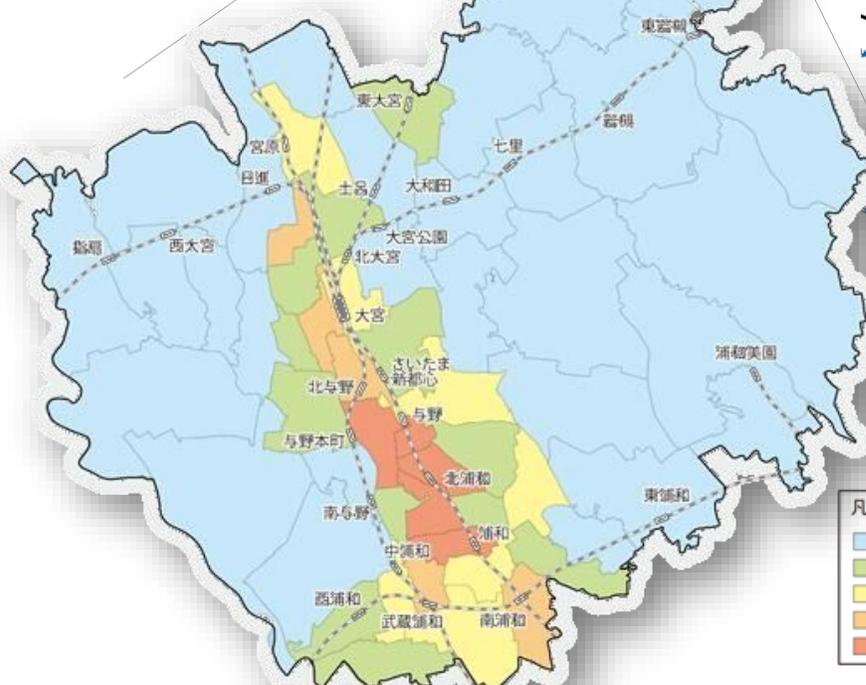
さいたま新都心駅周辺

1. さいたま市の概要



- 東京都心から20~40km・埼玉県南東部に位置
- 政令指定都市・県庁所在地
- 新幹線6路線が集まる交通結節点
- 面積：217.43km²（東西19.6km、南北19.3km）

- 2001年5月 さいたま市誕生
埼玉県内で初の100万人都市
- 2003年4月 政令指定都市移行（全国で13番目）
- 2005年4月 岩槻市と合併



人口・世帯数(2025/9/01現在)

人口：1,354,457人(前月比増減 27人)
 男性：670,683人
 女性：683,774人
 世帯数：656,951世帯(前月比増減221世帯)

年齢別の内訳	
14歳以下	167,577人
15~64歳	870,105人
65歳以上	316,705人

● 南北を走る鉄道の駅周辺を基点とした自転車利用が多い

図. 自転車利用の地域別分布 (市内)

資料：H30東京都市圏パーソントリップ調査

1. さいたま市の特徴（自転車利用に関する特性）

(2) 自転車利用に関する特性

地形が平坦で自転車利用に適している

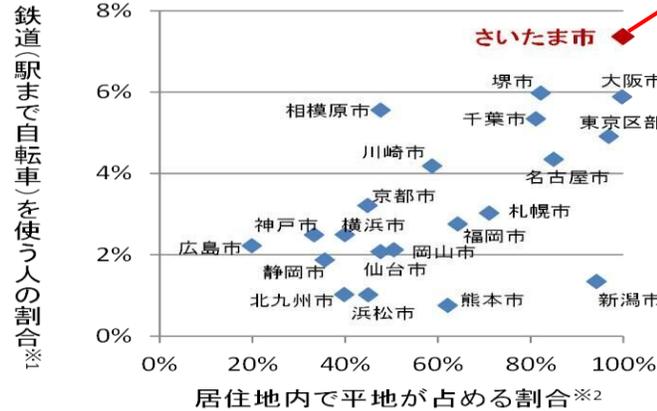


図. 平坦性と自転車利用の関係 (政令市)

【資料】※1 H22国勢調査（15歳以上の通勤・通学時の交通手段）
 ※2 H23国土数値情報（傾斜3°未満の面積割合）

表. 自転車保有状況（14大都市）

政令市	世帯での自転車保有率
さいたま市	78.2%
京都市	75.8%
大阪市	74.0%
千葉市	66.6%
仙台市	65.9%
広島市	64.6%
名古屋市	64.6%
東京区部	62.3%
福岡市	61.2%
札幌市	60.3%
川崎市	59.8%
横浜市	57.5%
神戸市	48.4%
北九州市	47.6%

【資料】平成30年度自転車保有実態に関する調査報告書（一般財団法人自転車産業振興協会）

(2) 自転車利用での課題

近距離でもクルマの利用が多い



図. 5 km未満の交通手段分担率 (さいたま市)
 【資料】H30東京都市圏パーソントリップ調査

ルール・マナーの不满が多い

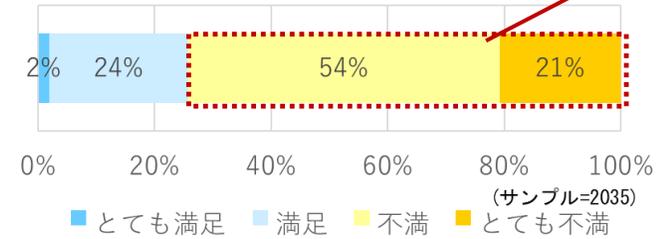


図. 自転車利用者のルール・マナーの満足度 (さいたま市)
 【資料】市民アンケート (R2.10 さいたま市)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

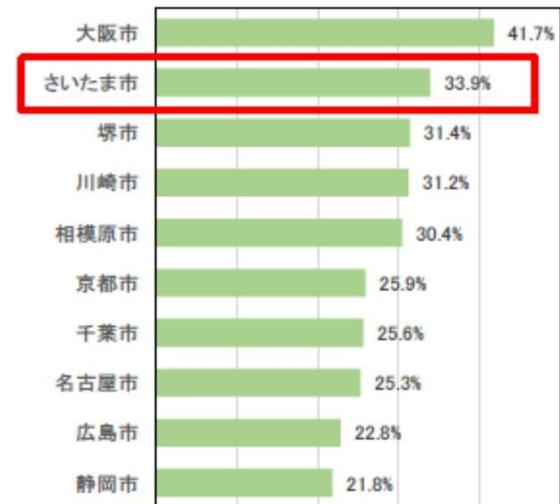


図. 全交通事故中の自転車関連事故の割合 (政令市)
 【資料】H30イタルダデータ

さいたま自転車まちづくりプラン さいたまはーと

平成28年3月策定、令和4年3月中間見直し、計画期間10年（令和7年度迄）

<計画の柱>

たのしむ

自転車を活用して余暇を充実させる取組



まもる

自転車の正しい利用の仕方を身に付ける



はしる

自転車通行環境や快適な利用を推進



とめる

自転車駐輪場環境を充実させる取組



「たのしむ」の施策の取組

① 自転車レース・イベントの開催支援

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム

【開催概要】

- ▶ 世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車競技イベント
- ▶ ツール・ド・フランス本大会で大活躍したスーパースター達が集結し、さいたま新都心周辺の特設コースで熱戦を繰り広げる
- ▶ 毎年10月～11月頃に開催 令和5年11月5日(日)

約3.5km/周×17周=約60km
選手の平均走行速度は約43km/h



※写真は2019年実施の様子です

2023サイクルフェスタ

日程：2023年11月4日(土)、5日(日)
会場：さいたま新都心駅東口周辺
来場数：約28,000人(2022年度実績)

- 主なコンテンツ
- ・ 自転車とSDGsをテーマとしたトークショー
 - ・ BMXショー
 - ・ 電動サイクル等の体験ブース
 - ・ キックバイクを使用したキッズレース
 - ・ 飲食・自転車関連ブース
 - ・ クリテリウムパブリックビューイング



② サイクルツーリズムの推進

レクリエーションルートの整備

- さいたま市内に存している荒川サイクリングロードにおいて、自転車走行環境の向上に向けた取組として案内サインを設置。(平成29年度)
- ・ さいたま市内の荒川サイクリングロード沿線(1km毎)
 - ・ 路面標示 17箇所
 - ・ 案内看板 16箇所



サイクルサポート施設「さいくステーション」

- 自転車に乗る方が気軽に立ち寄り休憩ができる施設として「さいくステーション」を認定。
- ・ 自転車ラックや自転車工具、空気入れの無料貸し出し
 - ・ 飲食店・コンビニ等 33箇所
 - ・ 公共施設 6箇所



「サイクリングマップ」の作成

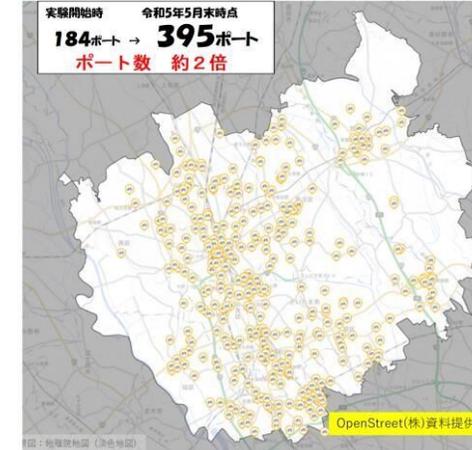
- ・ 『歴史と自然と鉄道を巡るサイクリングマップ』(大宮駅・さいたま新都心駅周辺)
- ・ 『歴史も自然も遊びもサイクリングマップ』(見沼たんぼ・浦和美園駅・東浦和駅周辺)



③ 自転車のまちの魅力向上

シェアサイクルの利用促進・エリア拡大

実験開始時 令和5年5月末時点
184ポート → 395ポート
ポート数 約2倍



さいたま市内ポート配置図



ポート数と利用回数のグラフ

「まもる」の施策の取組

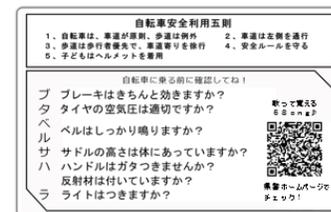
①交通安全教育の推進



幅広い世代への交通安全教室の実施



交通安全教育の実施
(自転車プロチームとの連携)



子ども自転車運転免許制度

②正しい自転車利用の啓発

自転車安全利用の人材育成

パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業

- ・子育て世帯を対象に、3人乗り電動アシスト付自転車の購入に係る費用の一部を補助する制度（最大30,000円）
- ・対象者には、自転車安全推進サポーターになっていただき、自転車安全講習会の受講や自転車安全利用に関するアンケート等のサポート活動を実施



電動アシスト付3人乗り自転車



自転車安全講習会の様子

自転車安全利用に関する広報・啓発

・コミュニティワード

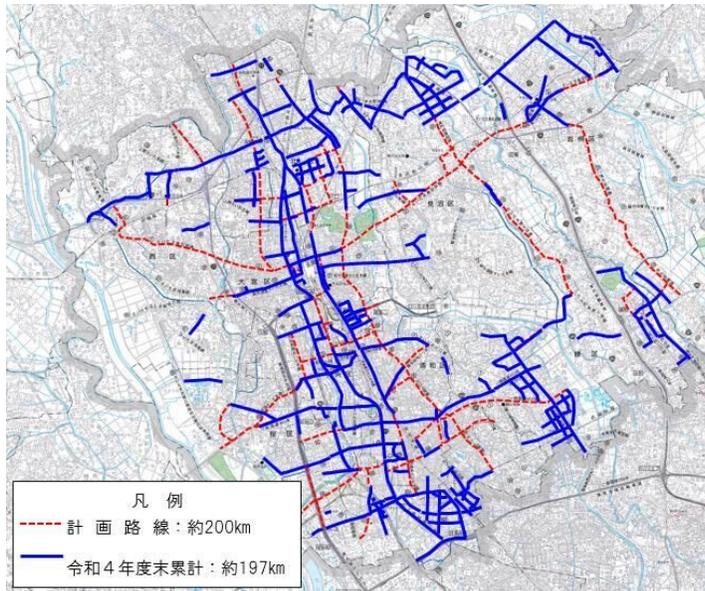
BEAUTIFUL RIDE

・さいたま自転車ルールブック・子ども乗せ自転車を楽しむためのハンドブック



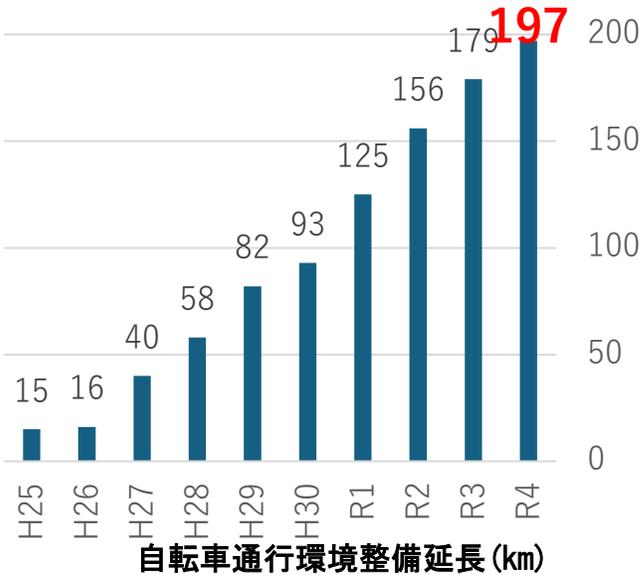
「はしる」の施策の取組

① 自転車通行環境の整備



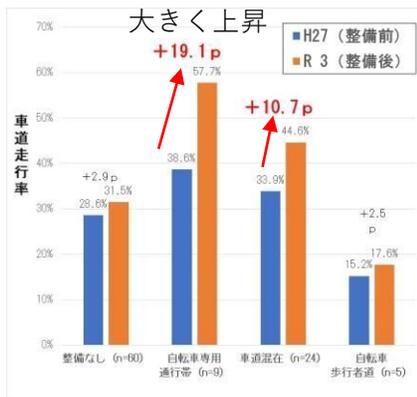
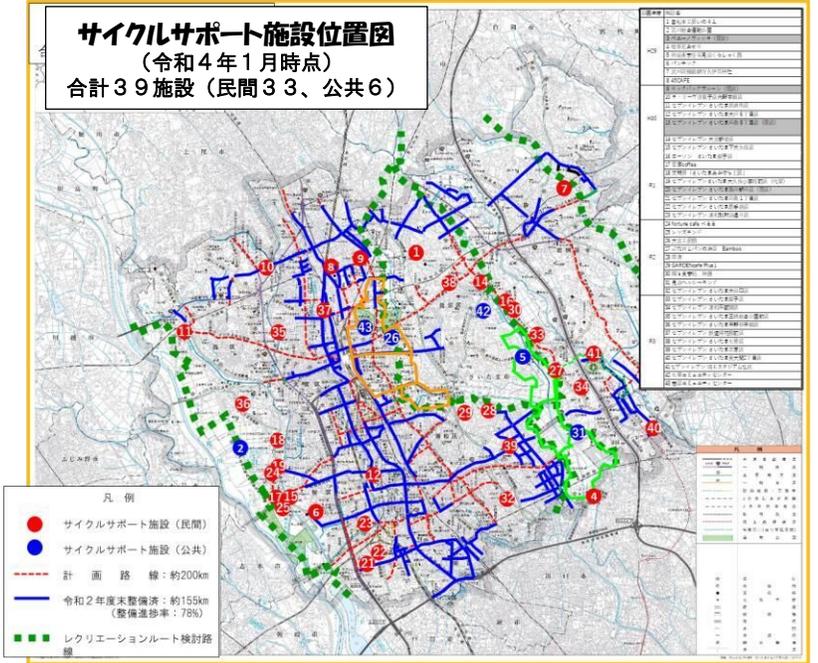
自転車ネットワーク路線と整備状況

整備目標：令和4年度末200km

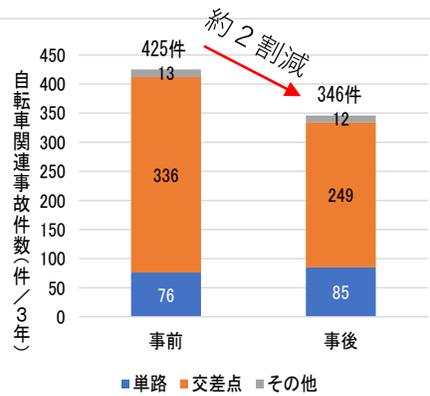


自転車通行環境整備延長 (km)

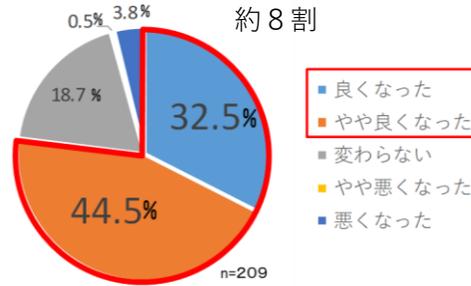
② 自転車利用の促進



整備前後の車道走行率
 (H28~R2整備路線の38地点)



整備前後の自転車事故件数
 (H28~H30の3ヵ年間の整備延長約3点)



自転車利用者アンケート結果
 (整備後の車道での走行しやすさについて)

○整備路線では整備後に事故件数が減少し、車道走行率が上昇。
 ○自転車利用者アンケート結果からも、車道走行がしやすくなったことが分かる。



「とめる」の施策の取組

①駐輪場の利便性向上（利用しやすさ）

駐輪場の需給バランスの把握

主要駅周辺の駅へ向かう動線上への配置など利用しやすい駐輪場の配置を検討



民間駐輪場設置に対する補助制度

放置自転車解消及び駐輪場の適正配置の推進のため駐輪場設置者に対し補助金を交付



②放置自転車の解消

放置自転車対策の強化（指導・撤去）

自転車等放置禁止区域

放置自転車等への警告

「自転車等放置禁止区域」に放置されている自転車・原付に対して、放置自転車監視員による監視や警告札を貼りつけるなど警告を実施します。



放置自転車等の撤去

警告札等による警告を実施した後、車両の撤去を行います。撤去後は、その旨を案内表示板等で周知します。



自転車保管所

撤去した車両は、自転車保管所で保管します。保管した車両は、利用者へ返還する他、一定期間以上経過した車両は、売却処分や再生自転車として海外譲与を行っています。



放置自転車対策の強化（啓発）

放置自転車の活用（発展途上国に無償譲与）

撤去自転車の有効利用策として、「再生自転車海外譲与自治体協議会（略称「MCCOBA」、参画自治体：さいたま市、大田区、世田谷区）」を通じて海外譲与を実施。



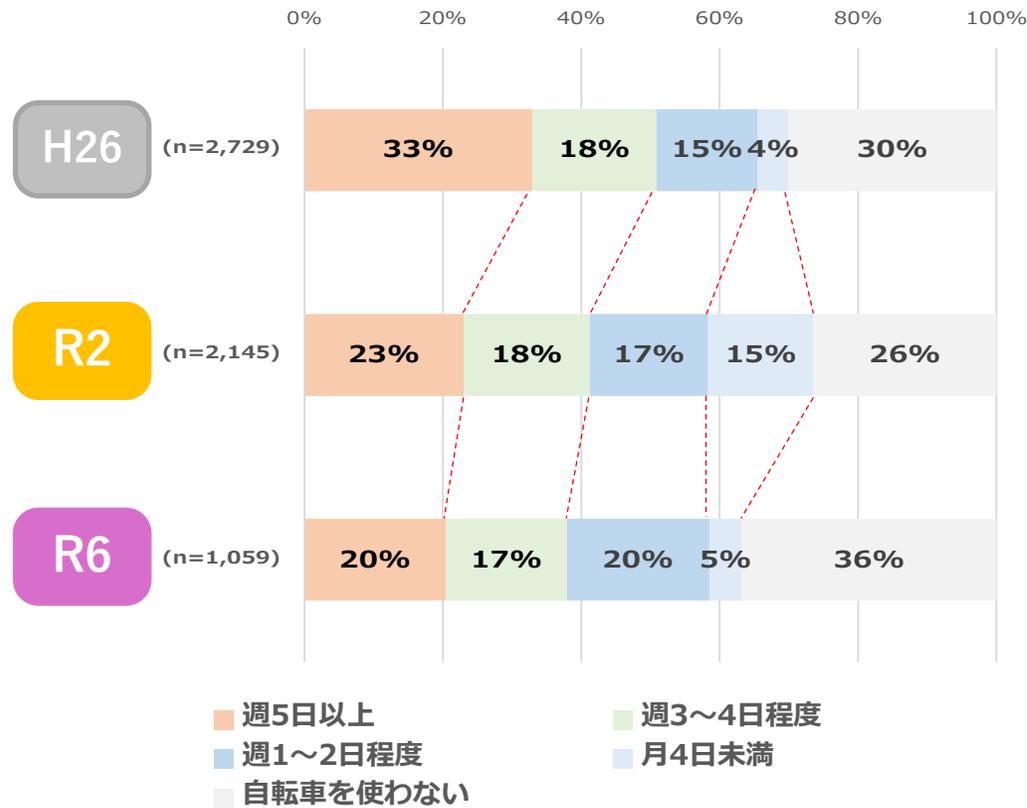
妊婦さんを保健施設に搬送する役割を果たす再生自転車（ザンビア） ※MCCOBAホームページ

■コロナ禍前後の市民の自転車利用状況の変化（自転車の利用頻度）

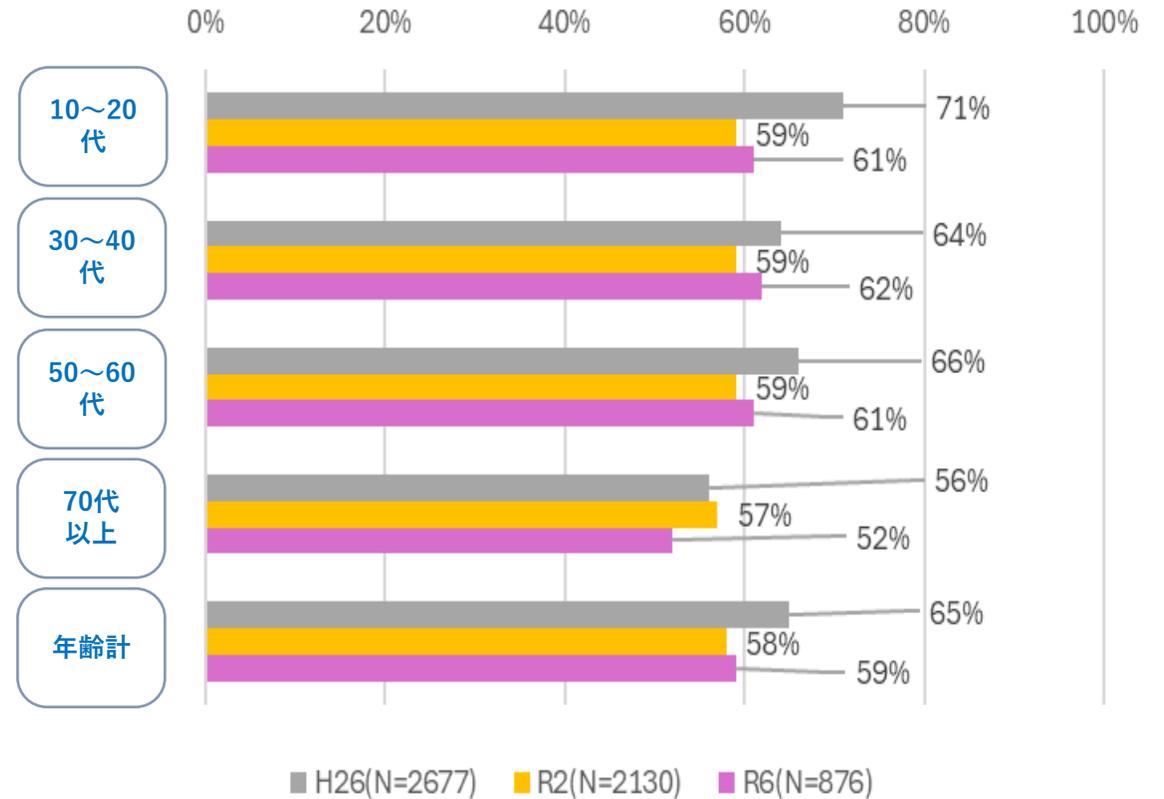
自転車の利用頻度

- 利用頻度の高い層が減少した一方、週に数回程度の利用者層が増加
- 高齢者の利用割合が減少

<図 自転車の利用頻度>



<図 年代別週1日以上自転車を利用する割合>



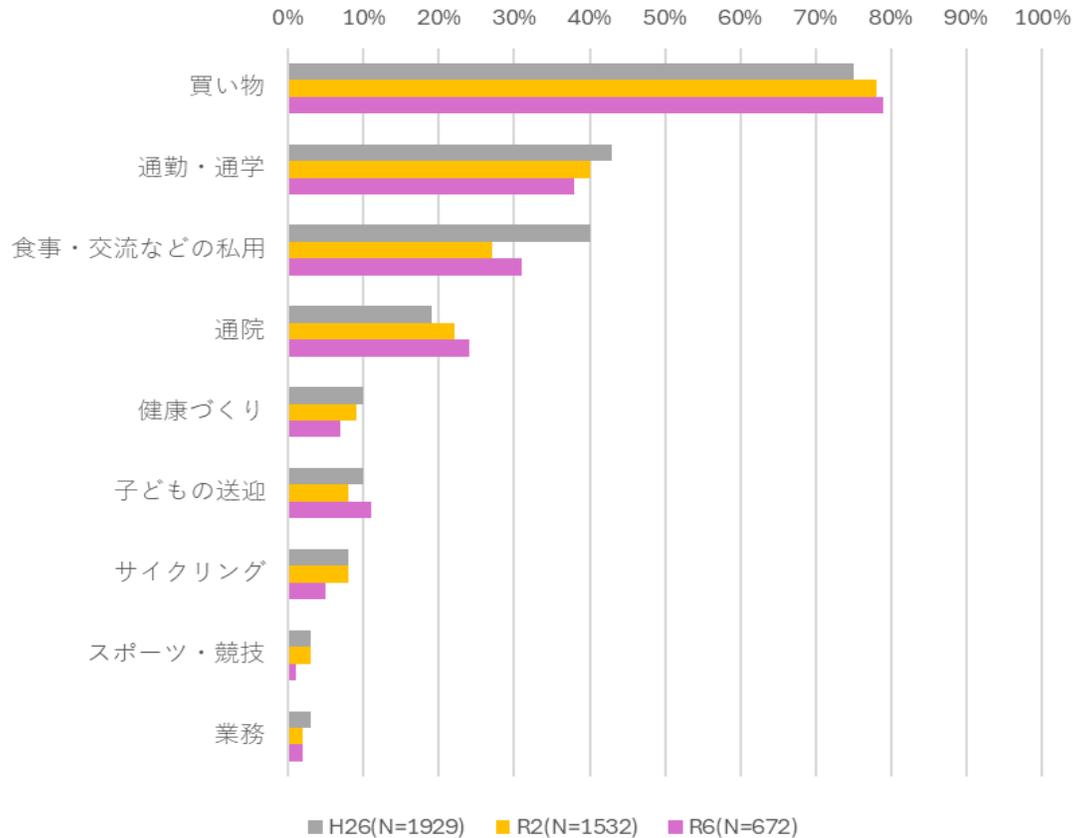
資料：市民アンケート調査（R6.6）

■コロナ禍前後の市民の自転車利用状況の変化（自転車の利用目的）

自転車の利用目的

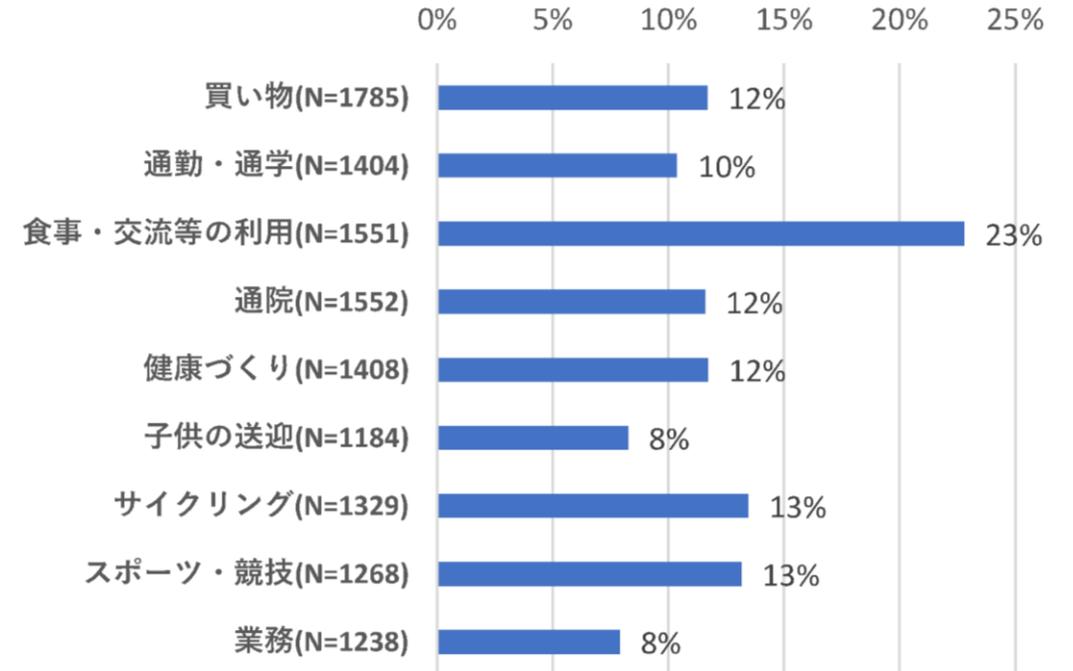
- 買い物や通勤・通学等の日常生活における移動手段としての利用が多い
- コロナ禍では、食事・交流などの私用での利用が減少
- 日常利用では、5 km以内（20分程度まで）の利用が多い

<図 自転車の利用目的>



資料：市民アンケート調査（R6.6）

<図 コロナ禍で減少した自転車利用目的>



資料：市民アンケート調査（R2.10）

■コロナ禍前後の自転車利用状況の変化（シェアサイクルの利用状況の変化）

シェアサイクル

- シェアサイクル事業者との連携協定により公有地へのステーション設置を推進
- ステーション数の増加に合わせて利用回数が急増
- 連携協定に基づき、利用状況の分析、事業の効果や採算性の検証、本格導入に向けた課題の整理を行ってきた
- 令和7年3月より、本格実施に移行

1 ポート数の変化

令和元年度

累計ポート数

310箇所

令和3年度

累計ポート数

368箇所

令和6年度

累計ポート数

504箇所

対R1比

約1.2倍

対R1比

約1.7倍

2 利用回数の変化

令和元年度

利用回数(年間)

330,802回

令和3年度

利用回数(年間)

793,678回

令和6年度

利用回数(年間)

1,696,012回

対R1比

約2.4倍

対R1比

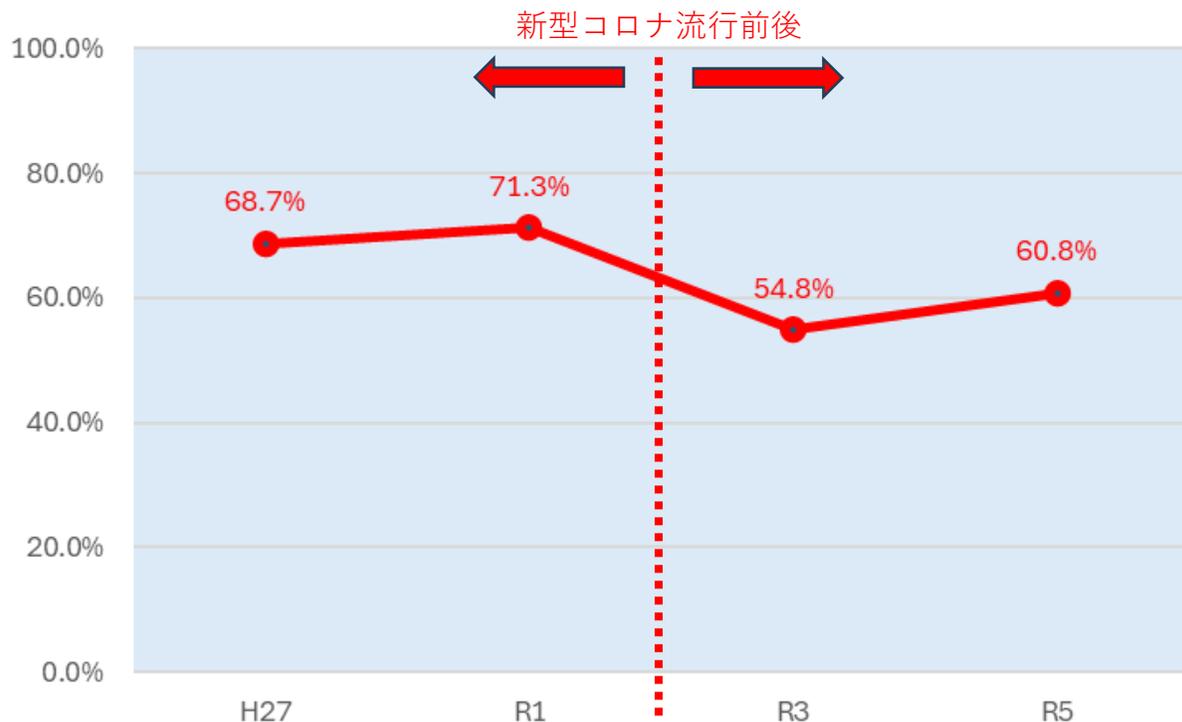
約5.1倍

■ コロナ禍前後の自転車利用状況の変化（駐輪場の利用状況）

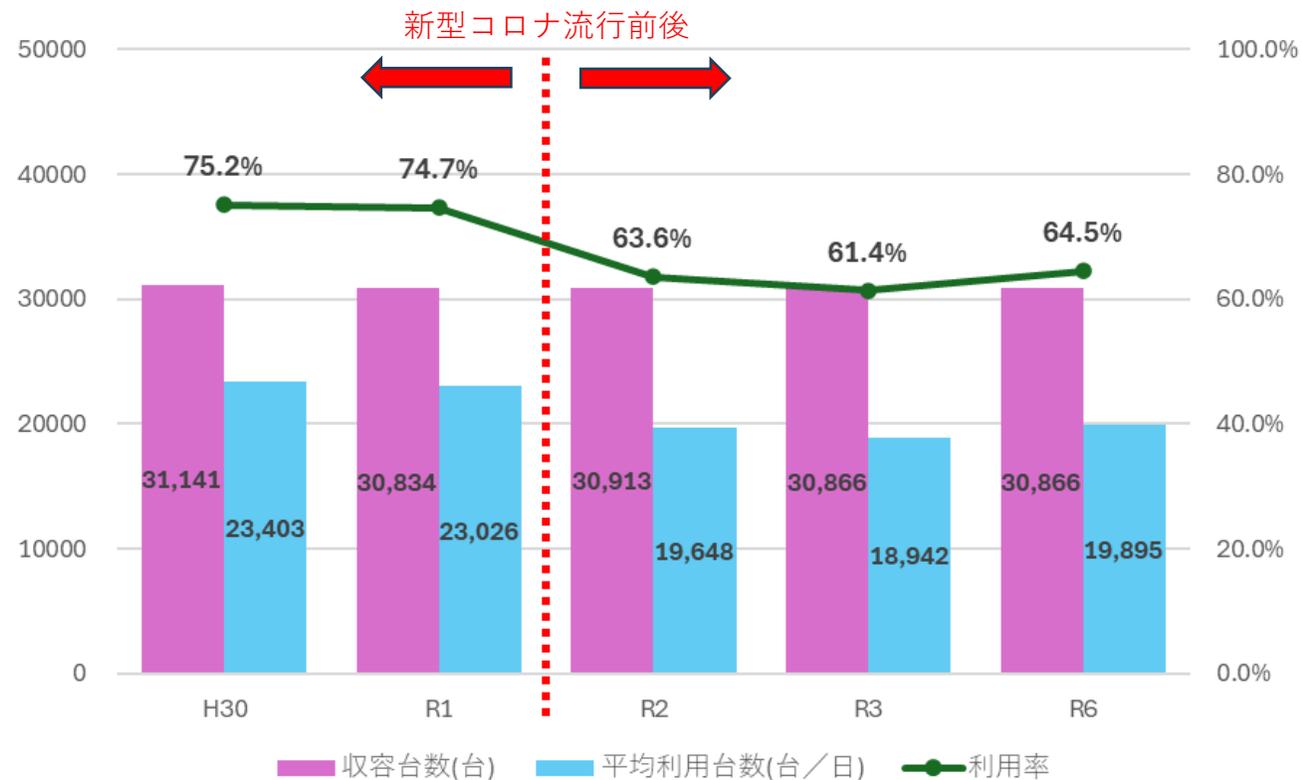
駐輪場の利用状況

- 稼働率、定期利用者契約数ともに、一時低下したものの、現在は回復傾向
- コロナ禍前の水準には戻っていない（一部は一時利用に転換したと推測される）

<図 市全体での駐輪場稼働率の経年変化>



<図 市営駐輪場の定期利用に関する情報（調査月11月）>



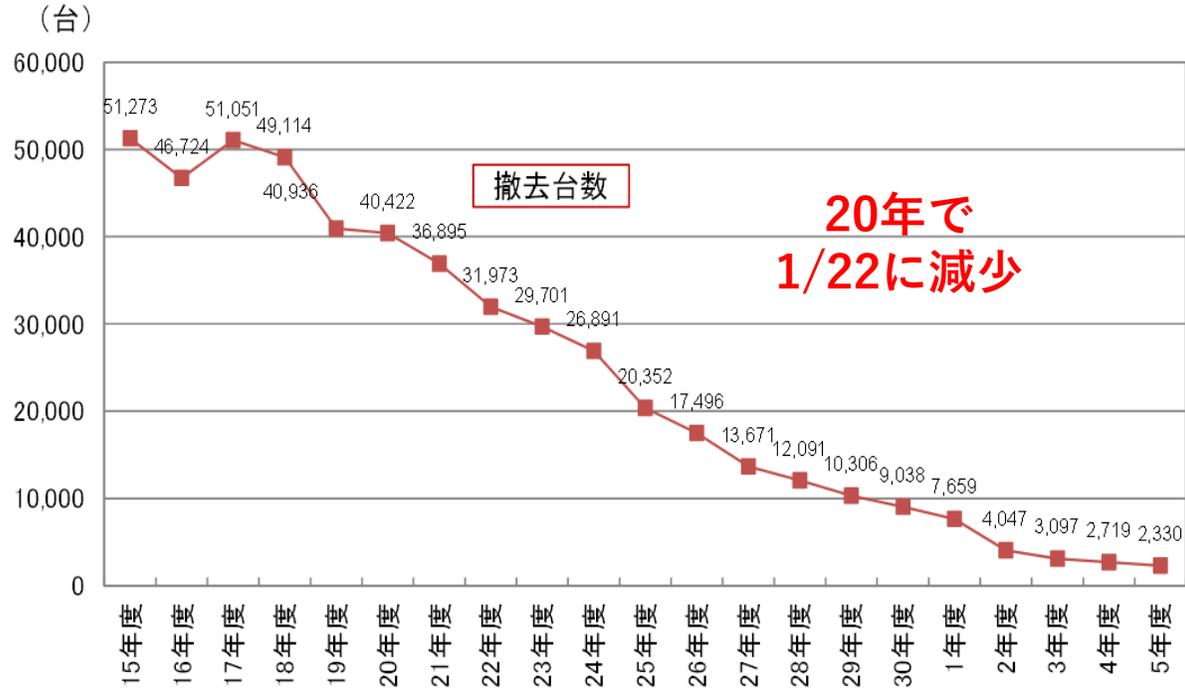
■コロナ禍で進めた取組（放置自転車対策事業費の縮減と放置自転車返還手数料の改定）

事業コストの縮減

手数料の改定

- 駐輪場の整備進展、放置対策の周知啓発・監視活動の徹底、シェアサイクルの利用進展等に伴い、近年は放置自転車が大幅に減少
- 数々の事業コスト縮減対策を実施後、放置自転車返還手数料の改定に着手

<図 放置自転車撤去台数（年間）の推移>



【主な放置自転車対策事業のコスト縮減】



- ①監視指導員の効率的な配置
- ②撤去業務の見直し
- ③保管所の開所日時の短縮（R 3.4～）
- ④保管所の統合（4箇所 → 2箇所）

【放置自転車返還手数料の改定】 R6.1～

自転車	1,000円	➔	2,500円
原付	2,000円	➔	4,000円

自転車施策の取組の進化

～自転車走行環境効果検証会議～

(1)目的

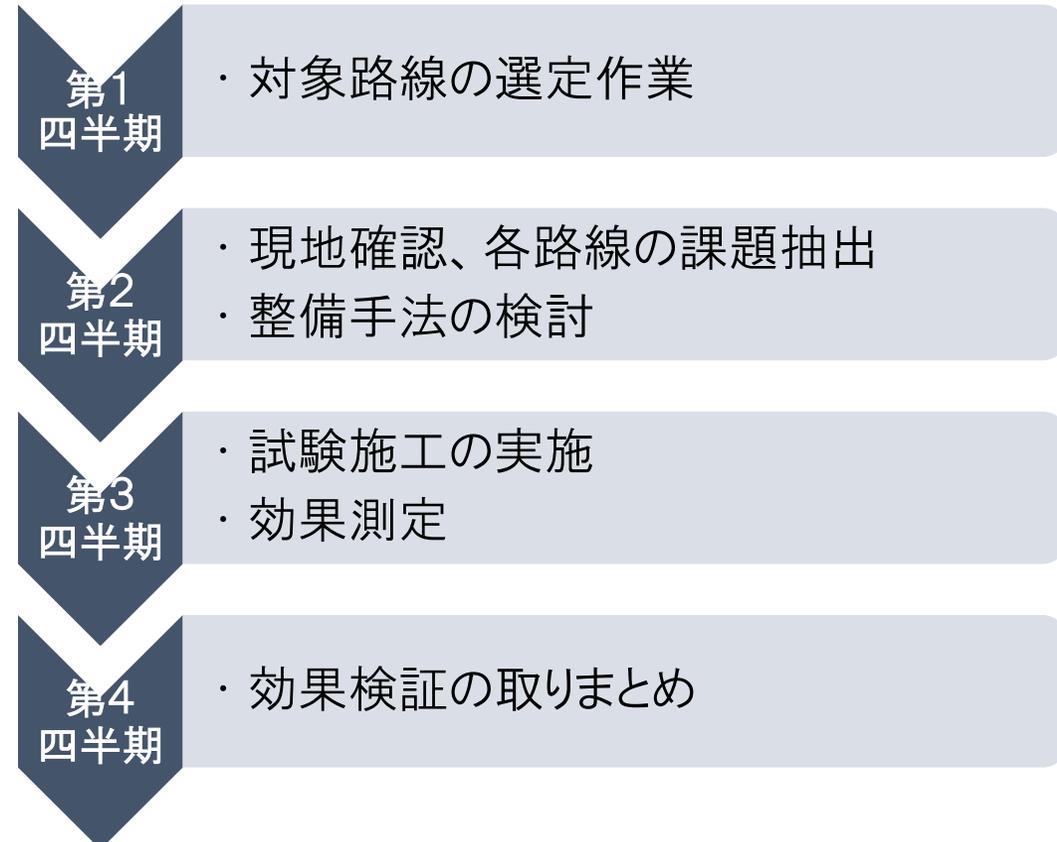
市内には車道幅員が特に狭いなど、標準的な整備が難しい路線が存在している。そういった路線での整備を推進する、「さいたま市自転車走行環境効果検証会議」を設置。

(2)主な内容

- ・既整備路線の効果検証
- ・整備手法の検討と整備後の効果検証
- ・自転車安全利用の周知、企画立案

(3)検証会議の構成員

区分	所属
実施主体	さいたま市 自転車まちづくり推進課、道路環境課、市民生活安全課
交通管理者	埼玉県警 交通規制課、交通総務課
道路管理者	国土交通省 大宮国道事務所
学識経験者	NPO法人自転車活用推進研究会、埼玉大学
事業者	ファインモータースクール

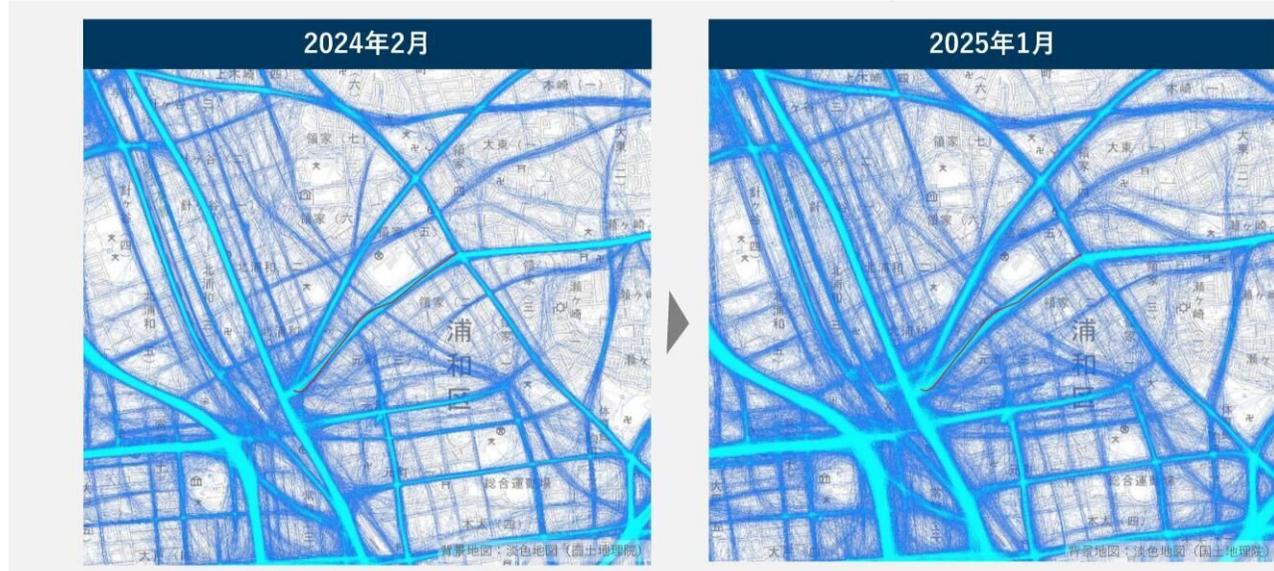


自転車施策の取組の進化 ~自転車走行環境効果検証会議~

● 走行環境の整備効果を検証する手段としてシェアサイクルの利用状況の変化を確認

【走行軌跡の変化】

- ・シェアサイクルの利用量増加
- ・整備路線の走行数も増加



Confidential

Copyright © OpenStreet CORP. all rights reserved.

【走行速度の変化】

- ・平均速度に変化はない
- ・日別の変動が減少
- ・安定した走行に寄与



自転車施策の取組の進化 ~交通安全の取組~

<職員研修>

- 市職員の更なる自転車安全利用の促進と交通事故防止のため研修を実施
- 公務や通勤で自転車を利用する職員に限らず、全職員に対し受講を依頼

さいたま市職員 自転車安全利用研修



令和6年11月
市民局市民生活部市民生活安全課
都市局都市計画部自転車まちづくり推進課

【自転車安全利用五則】を守ろう

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号一時停止を守って、
安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

道路交通法改正により、令和5年4月1日から
全ての自転車運転者のヘルメット着用が努力
義務となりました。

自転車の交通ルールの基本であり、自転車を安全に利用するために
守るべき5項目です。項目ごとに見ていきましょう。

ヘルメット着用のルール

? ヘルメットの正しいかぶり方は?

- ヘルメットは正しくかぶらなければ、十分な効果が得られない恐れがあります。
- ヘルメットからおでこが見えないように水平にかぶり、あごひもの長さを調節して、ずれたり転倒時に脱げないようにしましょう。

○正しいかぶり方



まゆ毛のすぐ上になるようにかぶります。
前から後ろにかけて水平になるようにかぶります。

×誤ったかぶり方



×ヘルメットの先が上に向きおでこが見えている状態。

・さいたま市職員としての自覚を持って、市民の模範となるようヘルメットの着用を心掛けましょう。

自転車施策の取組の進化

～交通安全の取組～

＜高齢者乗り方教室＞

- 座学と実技を交え、自転車の安全利用やヘルメット着用のポイント、電動アシスト付自転車の試乗体験を官民連携により実施



＜高齢者ヘルメット購入補助＞

- 自転車の安全な乗り方や交通ルールについて、講習を行い、参加者の自転車ヘルメット購入費用を一部補助

【さいたま市自転車安全利用講習】

自転車の安全な 乗り方講習の 参加者を募集します

参加者には
自転車ヘルメット購入費用の
一部を補助します

事故にあわない・おこさないために、
自転車の安全な乗り方や交通ルールについて学びませんか？

※詳細は、さいたま市ホームページをご覧ください。



さいたま市ホームページ

対象者 市内在住の65歳以上の方 参加費 無料

ヘルメット購入費用補助額 上限 2,000 円 (補助率1/2)



自転車施策の取組の進化 ~サイクルツーリズム~

＜サイクリング体験＞

- 自転車文化情勢に向け、サイクリング体験イベントを実施
- 食や花、歴史等の地域資源を活用し、自転車に親しむ層のすそ野を広げる取組として実施



自転車施策の取組の進化 ~サイクルツーリズム~

<サイクルツーリズム推進モデルルート（彩くるルート）>

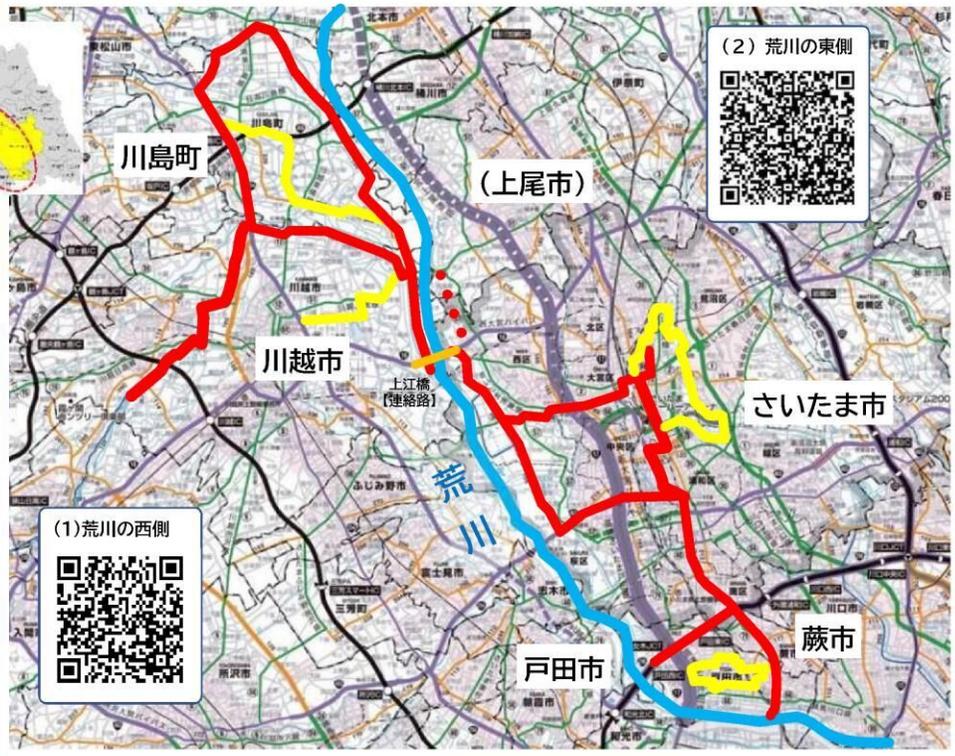
- 広域サイクリングルート「彩くる(さいくる)ルート」のうち、「荒川リバーサイドCity」と「秩父札所・長瀨」の2件が、国土交通省の「サイクルツーリズム推進モデルルート」に県内で初登録

埼玉県サイクルツーリズムの推進モデルルート

- 通過市町村：4市1町（1市調整中）
さいたま市、川越市、蕨市、戸田市、川島町（上尾市調整中）
- 基幹ルート延長：約86km
- 主な観光スポット
戸田公園、彩湖、蕨宿
氷川神社・参道、さいたま新都心
荒川自転車道、入間川自転車道
川島農産物直売所 など



彩くるルート 荒川リバーサイドCity



彩くるルート 荒川リバーサイドCity

埼玉県
サイクルツーリズムの
推進モデルルート



凡例 赤実線：基幹ルート 黄実線：地域ルート

国土地理院地図

自転車施策の取組の効果

～さいたまは一と×10年間の成果～

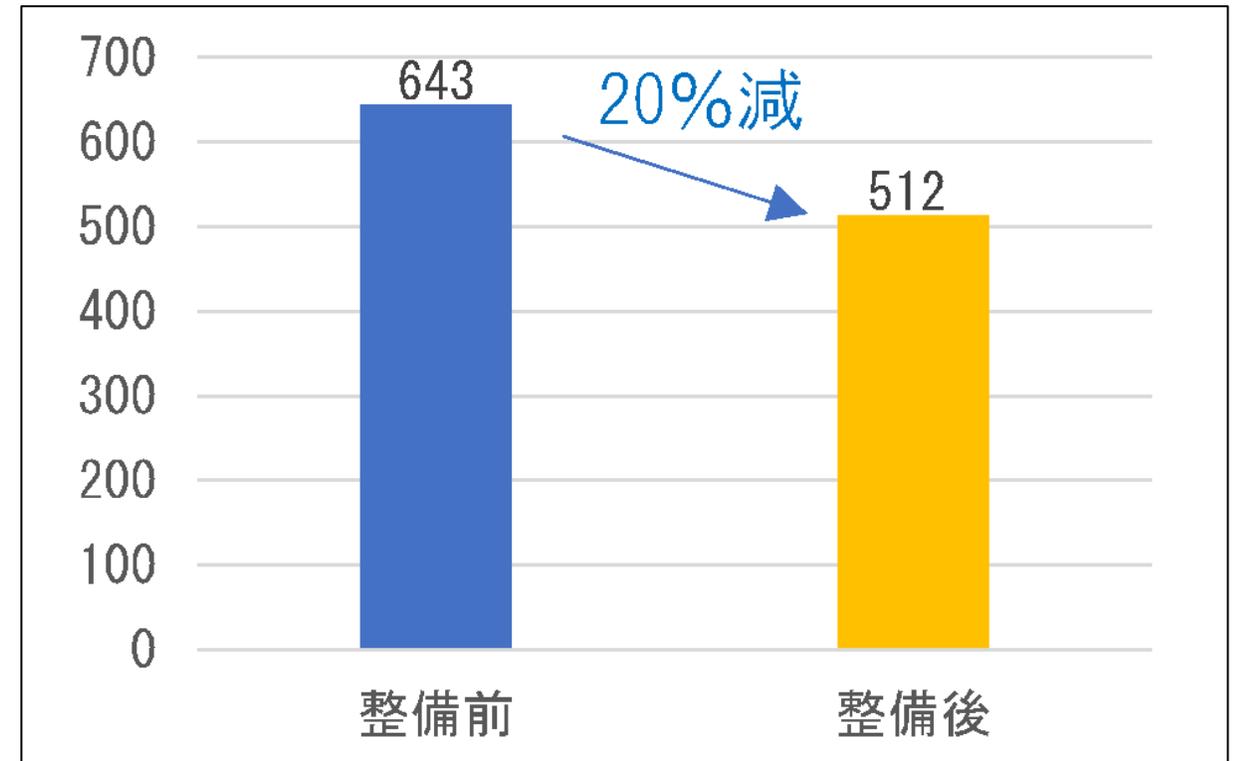
＜通行環境整備状況＞

令和7年3月末時点

自転車レーン **約232キロ** 整備完了



＜自転車関連事故件数＞



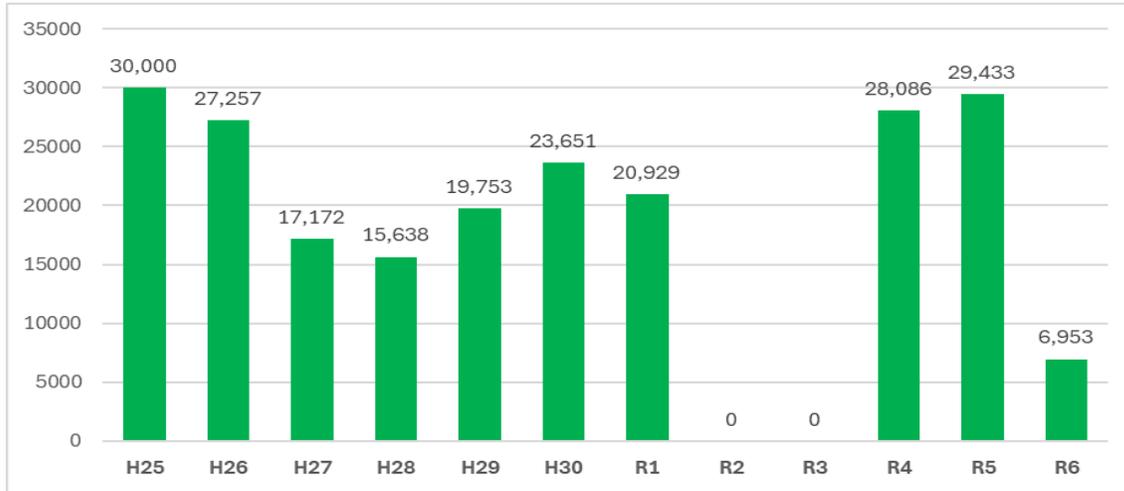
(前後3か年)の変化※

※平成28～令和元年度に自転車通行空間を整備した路線

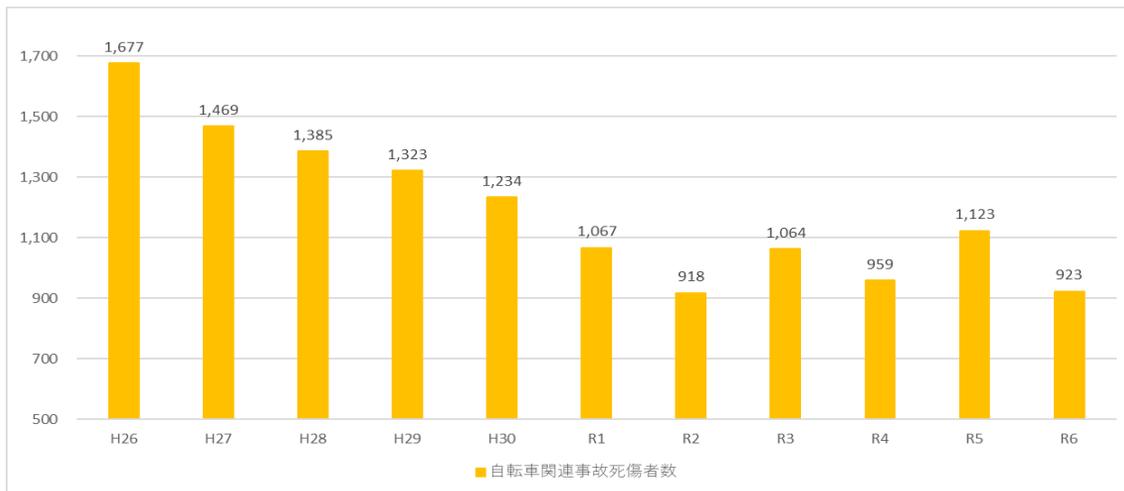
自転車施策の取組の効果

～さいたまは一と×10年間の成果～

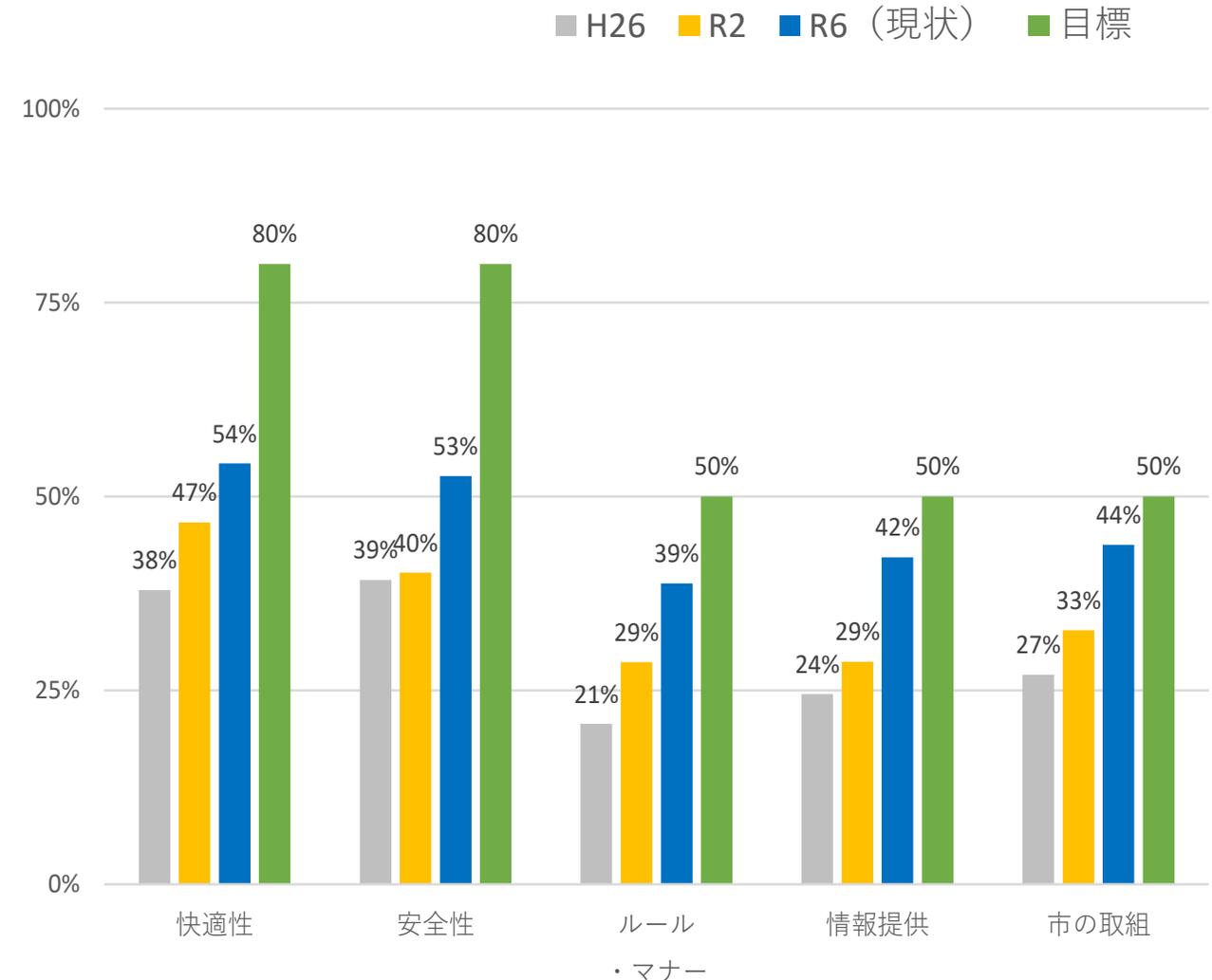
＜サイクルフェスタ来場者＞



＜自転車事故死傷者数＞



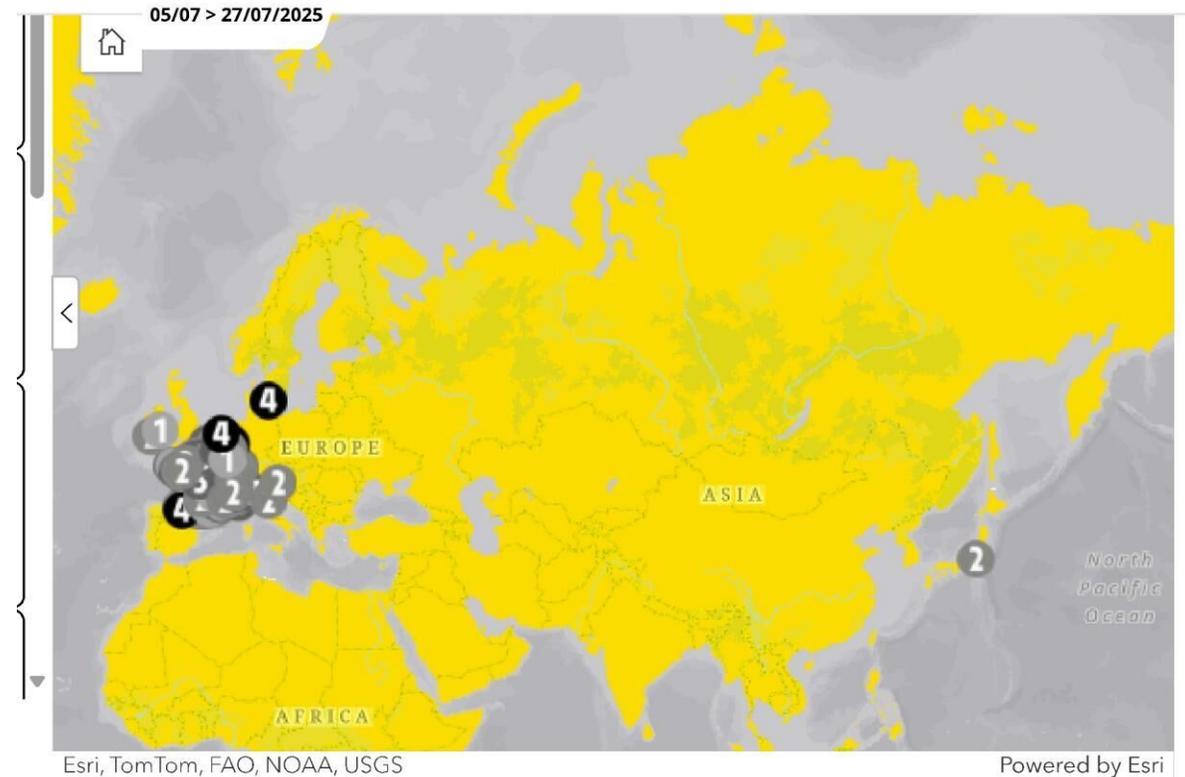
＜自転車に関する市民満足度＞



JCC 開催後の変化

< 『ツール・ド・フランス サイクルシティ』 ラベル授与 >

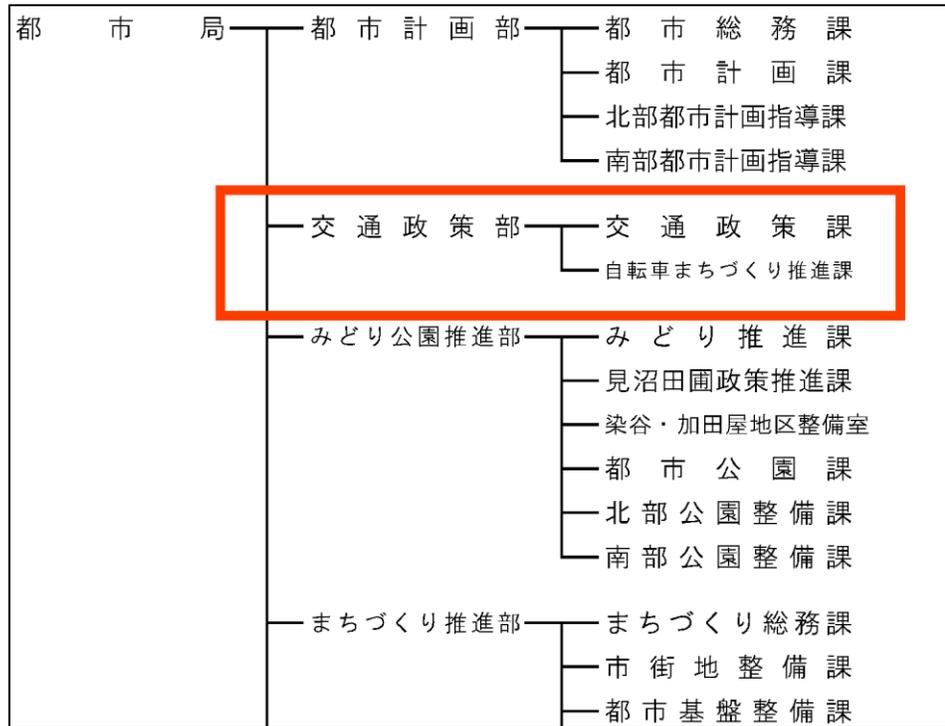
- 自転車普及に積極的に取り組む自治体を宣伝することを目的とした「ツール・ド・フランス・サイクルシティ」ラベルを授与【令和6年5月17日】
- A. S. O. (Amaury Sport Organisation) の4種の評価基準のうちの一つにあたる、「レベル2：自転車を促進するための計画的な政策を持つ自治体」の認定を受けた



JCC 開催後の変化

<組織改正>

- さいたま市版地域公共交通のり・デザインの実現及び自転車を活用したまちづくりの更なる推進に向けて、関連する交通施策を一体的に進めていくため、都市局を再編し、同局に「交通政策部」を新設



<自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 会長市就任>

- 令和7年6月4日開催の令和7年度総会にて議決



さらなる自転車施策の推進 ～さいたまはーと改定～

<改定の視点>

<計画に反映する事項>

自転車利用環境の変化

本プランの策定時と比較し、自転車の利用状況や環境の変化を検証。

主な検証項目

- ・自転車を取り巻く社会環境の変化
- ・自転車の利用や事故の変化
- ・サイクリングやシェアサイクルの状況

各施策の効果検証

各施策の進捗状況を把握するとともに、施策を展開することによる効果等の検証を実施。

主な検証項目

- ・施策の実施状況
- ・成果指標の達成状況
- ・課題や改善内容

市民アンケートの実施

- 期間 令和6年第2四半期実施
- 対象者 前回実績より、市内在住6,000人へ配布を想定(無作為抽出、郵送)

主なアンケート項目

- ・自転車利用環境の満足度
- ・実施中・新たな施策に対する重要度など

【将来像】人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま

【計画目標】 自転車利用者増加、自転車事故減少、市民満足度向上

【施策】・ 現行施策の実施方針検討 (拡大、継続、統合・縮小)
・ 新たな施策検討

たのしむ

国際的なサイクルレース、サイクリングや観光周遊の利用環境の充実

まもる

交通安全教育の質の向上、継続的な実施、災害等の非常時の対応への備え

はしる

自転車通行環境の充実、通勤・健康増進等、多目的な自転車活用の推進

とめる

駐輪環境の充実、公共交通との連携強化、シェアサイクルの充実、IoT技術の活用

第2次さいたま自転車まちづくりプラン
～さいたまはーと～
(計画期間：令和8年度～令和17年度)

<整合を図る事項>

自転車活用推進計画

国土交通省にて策定した「自転車活用推進計画」及び、令和7年度に改定する本計画の動向を注視。

現自転車活用推進計画の特徴

- ・通行空間等の利用環境から、観光、健康、安全まで、幅広い自転車の活用推進を目指す
- ・自転車関連の最上位の計画として、国、自治体、利用者、事業者の協力・連携が求められている
- ・現計画は令和7年度まで

自転車まちづくり条例

自転車まちづくりの基本理念や、市・利用者・事業者・市民等の責務の明確化(教育、ヘルメット着用、保険加入等)

さいたま市関連計画

さいたま市総合振興計画

さいたまSMARTプラン

さいたま市地域公共交通計画

さいたま市都市交通戦略

など

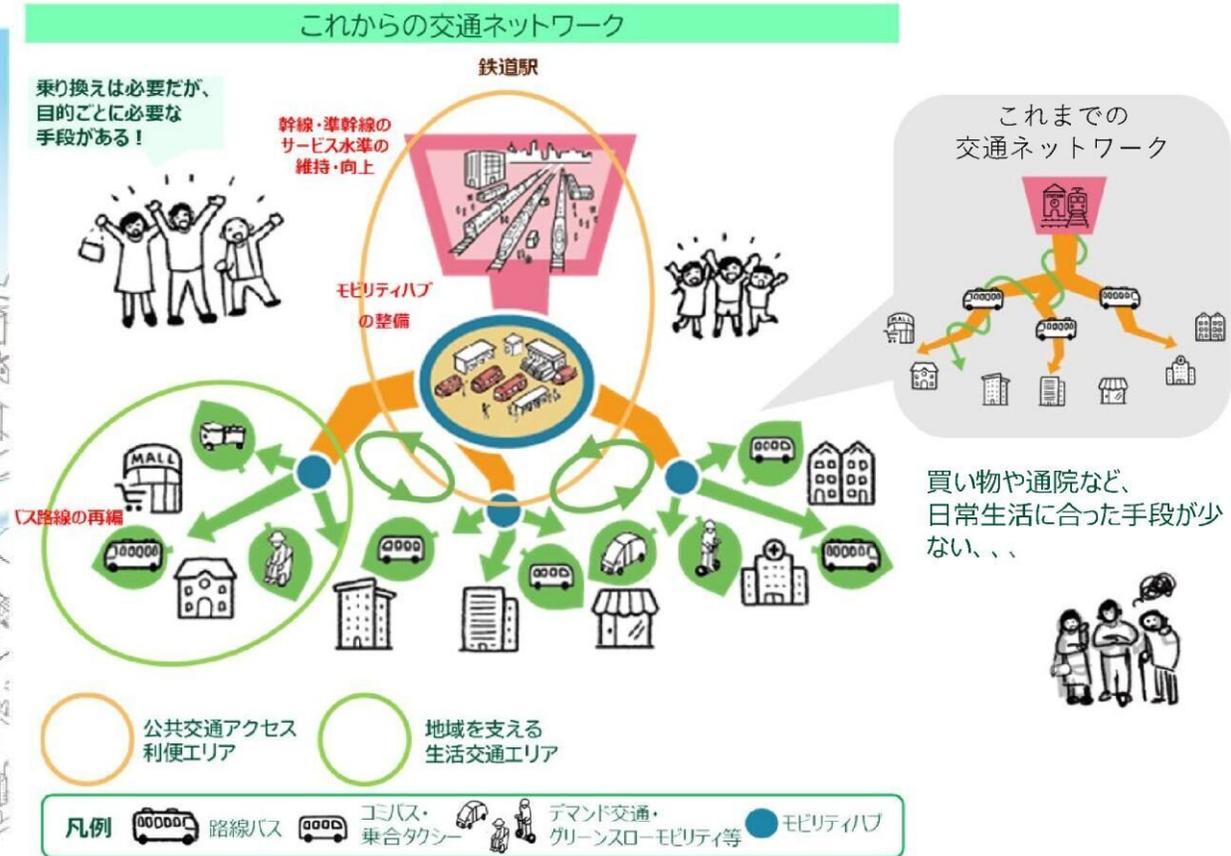
さらなる自転車施策の推進 ～さいたまはーと改定～

＜関連計画の改定＞【総合交通体系マスタープランの改定】

- 平成16年策定後、平成28年度の改定を経て、今年度改定予定。人々の暮らしや働き方の行動変容や新たなモビリティサービスの導入の活発化、バス・タクシーの運転手不足の深刻化等、社会情勢の変化等を踏まえ、人中心の持続可能なモビリティ計画として刷新。

基本目標

SMARTネットワークシティ BON-SAITAMA
～SMARTな交通体系の構築による集約・ネットワーク型都市構造の実現～



さらなる自転車施策の推進 ～さいたまはーと改定～

＜関連計画の改定＞ 【総合交通体系マスタープランの改定】

【ネットワークを補完する交通モード】暮らしをつなぐために選べる移動手段



- ◆ 幹・枝・葉の交通ネットワークだけでは行きにくい場所や、時間帯によって移動しにくいときに、ネットワークを補完します。

【シェア型マルチモビリティ】

期待する役割	<ul style="list-style-type: none">・ 主要拠点や住宅密集地間のファースト・ラストワンマイルの移動を支える・ 夜間などのバス等の運行時間外の移動手段や災害時等における幹・枝の代替交通手段としても期待される。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・ 住宅地や郊外における利便性の向上が期待されることから、今後、積極的にシェア型マルチモビリティの市内展開を図っていく。・ 市域全域でのサービス展開による移動円滑化と脱炭素化の推進を目指す。

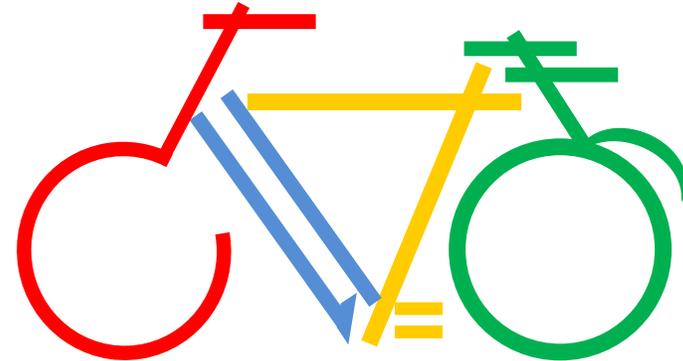


HELLO CYCLING プレスリリースより



JCC Before&After

～本日は御清聴ありがとうございました～



さい ……サイクル
た ……たのしむ
ま ……まもる
は ……はしる
と ……とめる